

## 保育実践(運動遊び)

### 研究会



7月8日

講師の先生の講義「幼児期・学童期の運動経験から育つ認知能力・非認知能力」の後、スタジオに移動し、2人組でタッチタッチゲーム（向かい合っているいろいろな方向に手を出し、相手はそこにタッチをする）、丸太棒倒し（寝転んで足を上にあげている相手の足を倒す）、へそ取り（うつ伏せになっている相手の体をひっくり返す）等や、グループに分かれてメチャビー（グループで作戦を話し合い、ボールを1つずつ自分の陣地に持ってくる）というゲームをしました。たくさん体を動かした後は、4人1グループになり、実技から感じた「運動遊びで育つ非認知能力」についてグループワークをしました。

7月23日

前回の振り返りをした後、対象児の姿をグループで共有し、ポジティブフィードバックをしました。中堅クラスの方は、初任者クラスの方が話しやすいように「聴く」ことを意識的に実践する、初任者クラスの方は、それぞれ一人対象児を決め、子どもの姿や持ち寄った写真、動画を見せて環境構成を説明するというワークをしました。ワークを通して、“こんなところがよく分かった”“こんな反応や進行の仕方があったから話しやすかった”等、各グループで話し合いました。



## インクルーシブ保育

### 研究会